



岡山県の資料整備 状況

『岡山県史』編纂事業が平成3年に完結し、そこで収集されている資料を岡山県総務部総務学事課（公文書館整備対策班）が引き継ぎ、現在アーキビスト3人・事業団派遣職員5人で資料整備に、新たな資料調査にと多忙な毎日を過ごしている。

現在、調査・収集している資料は、①公文書（県庁その他で公的に作成された文書）—約8,300冊、②古文書（歴史資料）—約25,900点、③複製本・写真版・複写紙他—約8,200冊、④マイクロフィルム—約200万コマ、ネガ・写真アルバム—約200冊、⑤図書・報告書—約4,000冊となっている。これらの資料について仮目録を作成しているが、いかにいえば、それは閲覧者が希望するものを素早く、しかも閲覧しやすい形で提供できる手段・方法を模索している段階であるともいえよう。

また、公文書の収集、古文書の調査・収集・寄贈・寄託等にも努力している。公文書の収集は、県文書庫の保存年限経過文書・オフィスクリン（本庁・振興局）関係文書が中心となっている。岡山県関係古文書は、県内外でその所在を確認しているものは798件で（県内771件・県外27件）、われわれの所に26件（寄贈・寄託）、図書館他公的機関に122件、個人所蔵として650件が保管されている。現在は、この個人所蔵を中心に、調査・資料保存等について取り組んでいる。

活動の場所は、350平方メートルの元県史編纂室（現・公文書館整備対策班室）とその隣

の335平方メートルの作業室・倉庫（現・公文書館整備対策班作業室）の2か所で、特に作業室・倉庫はイギリスに見られるレコードセンター的役割をはたしている。また、作業に支障をきたさないかぎり閲覧を許可しているので、公文書館整備対策班室には多くの閲覧希望者が諸情報を持って来室し、担当職員は嬉しい悲鳴を挙げている今日このごろである。

人見 彰彦・岡山県総務部総務学事課
（公文書館整備対策班）